

法学部講演会

共催：中央大学社会科学研究所
研究チーム「国際関係の理論と実際」

◆講演者：入江 昭（イリエ アキラ） 氏

＊ハーバード大学名誉教授

◆題 目：21世紀の日本と中国

◆日 時：2017年11月6日 月 曜日 2限 11:00～

※予約不要（どなたでもご参加いただけます）

◆場 所：多摩キャンパス 8302 教室

法学部講演会を実施します。講師の入江昭先生はハーバード大学名誉教授（専攻：アメリカ外交史）で、1988年の一年間、日本出身者として初めてアメリカ歴史学会会長を務められた、非常に優れた研究者です。シカゴ大学、ハーバード大学の歴史学部教授を歴任され、日本でも早稲田大学、立命館大学、関西大学の客員教授を務められました。著書『日本の外交』（1966年）などに見られるように、思想・文化の影響力を重視するアプローチが特色であり、一国の外交史研究を超えた多国間の視点とその相互作用を組み込む「国際史（International History）」研究の提唱や、文化交流の国際政治の研究の必要を長く提唱していることでも知られています。

講演は入江先生の豊富な知見を基にした興味深いものとなるでしょう。

皆さま奮ってご参加ください。

※本講演会は、中央大学社会科学研究所 研究チーム「国際関係の理論と実際」との共催です。

入江 昭 氏 略歴

1934年東京生まれ、1953年 財団法人グルー基金奨学生として渡米。1961年ハーバード大学大学院歴史学部を修了しPh.D.取得。1969年シカゴ大学歴史学部准教授、1971年同教授、1989年ハーバード大学歴史学部教授、同大歴史学部学部長。吉野作造賞及び吉田茂賞受賞。著書／『米中関係のイメージ』（1965年）、『20世紀の戦争と平和』（1986年）、『歴史家が見る現代世界』（2014年）など多数。